

## 第1回定住自立圏共生ビジョン懇談会における意見について

項目	内容
医療	<p>医師の数については寄附講座により増加。ただ、大学病院等が医師を手放したくないという現状がある。人が住むには、出産対応や小児医療が充実していないといけない。出産数はいなべ市は減少、東員町は増加している。産婦人科医の減少が懸念されるため、三重大学や桑名総合医療センターとの連携を図っていく。</p> <p>高齢者においては、脳血管障害、骨折、心疾患、救急が多いため、その分野を重要視する必要がある。</p>
福祉	<p>療育支援、障がい者(児)の福祉サービスは多様化しているが、少量であれば広域で対応するとまとまるのではないか。1市2町で分担することも必要。</p> <p>言語訓練について東員町は菰野町にお世話になっている現状があるが、第4次共生ビジョンにおいて廃止の方向で良いのか。新しい定住自立圏でも取り組むべきではないか。</p>
教育	<p>①指標：地域・社会貢献を考える中学3年生の割合 ⇒地域での体験学習等を行っているが、それを中学生が全国学力調査において「地域・社会貢献」という認識で答えているか（その質問が実態を表しているか）が疑問。指標を見直すべきではないか。</p> <p>②文化的な生活（学ぶ環境）を充実できないか。 ⇒図書館の閉館が17時頃のため、仕事終わりに行くことができない。他の地域は20時や21時閉館のところもある。毎日でなくとも、いろんな世代の方が利用できるよう検討してほしい。</p>
産業振興	<p>観光はそれぞれの市町で完結するものではない⇒広域的な観光を考える。</p> <p>山を活かして藤原町⇔菰野町の観光ルートや、住みたいと思った人に紹介できる情報を共有するようにした方がよい。</p>
公共交通	<p>いなべ総合病院⇔菰野厚生病院 間で公共交通機関がない。</p> <p>桑員地区と三四地区で区割りがあると思うが、そこが繋がればもっとよいまちになる。</p>
移住促進	<p>①圏域内で他の市町に移りたい、子どもの発達段階に応じて移っていくというニーズを紹介できるような仕組みを構築できないだろうか。</p> <p>②三重県の空き家バンクホームページ⇒北勢地区の登録件数0件。南部の伊勢や尾鷲は頑張って空き家対策されているので、県と連携をしながら利用できるものは利用していくことが必要。菰野町は街の中になら、自然もあり、文化的な生活もできる。そういうところはなかなかないので、もっとアピールすれば移住定住につながる。</p>